

**■授業の目的**

学習指導要領に対応した、中学校・高等学校の学習指導案の作成およびそれに基づく模擬授業などの実践的な授業を行う。4年次に教育実習を行うのに必要なスキルの修得を目指す。

■授業の到達目標

2年次の理論的、基礎的な学習を元に、3年次には実際の英語教科書を用いて、学習指導要領に準じた授業を行うことを主たる目標とする。基本的には英語で模擬授業を行ってもらおう。

■授業計画**〔前期〕**

- 1 オリエンテーション
前期の授業の流れを説明する。模擬授業の割り当てを決めるので絶対にこの日は休まないで欲しい。
- 2 日本の英語教育の歴史（復習）
2年次の復習を兼ねながらさらに高度な内容を学習する。歴史を理解する中で授業力の質を高めることを目標とする。
- 3 学習指導要領（復習）
新旧学習指導要領の比較を中心に学習を行う。さらに領域別学習到達目標の設定、年間指導計画の作成も行う。
- 4 英語教授法・第二言語習得（復習）
2年次の復習を兼ねながらさらに高度な内容を学習する。教科書の一部を用いて教授法の内在化を図りたい。
- 5 英語教員の役割・学習者論（復習）
2年次の復習を兼ねながらさらに高度な内容を学習する。復習のプレゼンを行うことで内在化を図る。
- 6 コミュニケーション能力・国際理解教育（復習）
復習のプレゼンを行うことで深い理解につなげる。また、次回以降の授業に備えて模擬授業で使用する指導案を作成する。
- 7 学生のプレゼン（1）
中学1年生の教科書で指導案を作成し模擬授業を行う。その後、全員でその模擬授業を分析し、学生全員の授業力を高めることにつなげる。
- 8 学生のプレゼン（2）
発音指導に焦点を当てて教案を書いてもらう。中学2年生の教科書で指導案を作成し模擬授業を行う。その後、全員でその模擬授業を分析し、学生全員の授業力を高めることにつなげる。
- 9 学生のプレゼン（3）
リスニング指導に焦点を当てて教案を書いてもらう。中学3年生の教科書で指導案を作成し模擬授業を行う。その後、全員でその模擬授業を分析し、学生全員の授業力を高めることにつなげる。
- 10 学生のプレゼン（4）
中学1年生の教科書の一部を模擬授業してもらう。スピーキング指導に焦点を当てて教案を書いてもらう。その後、全員でその模擬授業を分析し、学生全員の授業力を高めることにつなげる。
- 11 学生のプレゼン（5）
中学2年生の教科書の一部を模擬授業してもらう。リーディング指導に焦点を当てて教案を書いてもらう。その後、全員でその模擬授業を分析し、学生全員の授業力を高めることにつなげる。
- 12 学生のプレゼン（6）
中学3年生の教科書の一部を模擬授業してもらう。ライティング指導に焦点を当てて教案を書いてもらう。その後、全員でその模擬授業を分析し、学生全員の授業力を高めることにつなげる。
- 13 学生のプレゼン（7）
中学1年生の教科書の一部を模擬授業してもらう。語彙指導に焦点を当てて教案を書いてもらう。その後、全員でその模擬授業を分析し、学生全員の授業力を高めることにつなげる。
- 14 学生のプレゼン（8）
中学2年生の教科書の一部を模擬授業してもらう。文法指導に焦点を当てて教案を書いてもらう。その後、全員でその模擬授業を分析し、学生全員の授業力を高めることにつなげる。
- 15 まとめと検証テスト
前半の授業をまとめるとともに、理解度を検証するための検証テストを行います。

■授業の方法

英語科教育法の基本・応用を学びます。来年度は教育実習に行けるように実践的な力量を養成します。テストの作成のための基礎的なスキルも学びます。

■予習・復習

英語で授業ができる力をつけるために毎時間、『現場で使える教室英語 重要表現から授業の展開まで』の課題を課します。また、本授業は学生のプレゼンが中心となるため、担当となった場合は、入念な準備を要求します。

■成績評価の方法

前期も後期も学生のプレゼンが中心となります。授業内での評価を中心とします。基本的には授業内でのプレゼン・教案等の評価を60%とします。残り30%を検証テストとします。残り10%は宿題や課題で評価します。

■教科書・参考書

中学校の英語教科書3冊（New Horizon English course）

吉田研作他監修(2011)、『現場で使える教室英語 重要表現から授業の展開まで』三修社。

■関連する科目

英語科専門科目、教職関連科目、教育実習科目

〔後期〕

- 1 オリエンテーション
後期の授業の流れについて説明する。模擬授業の割り当てを決めるので絶対にこの日は休まないで欲しい。
- 2 高等学校での指導
保坂が授業実演を行う。その授業を分析しながら実際の授業に対するイメージを高めてもらいたい。観点別評価に焦点を当てた、学習指導案の作成を指導する。
- 3 第1章英語学力評価の基本認識
評価の意義や役割、英語学力についての基本的な知識を学ぶ。特に観点別評価の意義や役割を深く理解する。
- 4 第2章個別項目の測定と評価
音声テストや文法テストなど個別のテストを作成する時に必要な基本的な知識を学ぶ。
- 5 学生のプレゼン（1）
コミュニケーション英語Ⅰを模擬授業してもらう。その後、全員でその模擬授業を分析し、学生全員の授業力を高めることにつなげる。
- 6 学生のプレゼン（2）
オーラルの模擬授業してもらいます。その後、全員でその模擬授業を分析し、学生全員の授業力を高めることにつなげる。
- 7 学生のプレゼン（3）
リーディングの授業を模擬授業してもらう。その後、全員でその模擬授業を分析し、学生全員の授業力を高めることにつなげる。
- 8 学生のプレゼン（4）
「英語表現Ⅰ」の模擬授業をしてもらう。その後、全員でその模擬授業を分析し、学生全員の授業力を高めることにつなげる。
- 9 学生のプレゼン（5）
ALTとのT・Tによる「英語会話」の指導案の作成、模擬授業を行う。その後、全員でその模擬授業を分析し、学生全員の授業力を高めることにつなげる。
- 10 現場の英語教員との交流
高校の現場で実際に英語を教えている先生に来てもらい、高校現場の様子を話してもらうことを考えている。教育実習を控えた学生に現場の教員からの貴重な助言をもらう。
- 11 四技能の測定と評価
四技能の測定に必要なテスト作成の基本的学習を行う。これ以降の模擬授業では、担当の教材を元にテストの作成もお願いする。
- 12 学生のプレゼン（5）
中学1年生を模擬授業してもらう。その際、中1の4技能統合型模擬授業とテスト作成その際、評価のテスト作成も求める。
- 13 学生のプレゼン（6）
中学2年生を模擬授業してもらう。その際、中2の4技能統合型模擬授業とテスト作成その際、評価のテスト作成も求める。
- 14 学生のプレゼン（7）
中学3年生を模擬授業してもらう。その際、中3の4技能統合型模擬授業とテスト作成その際、評価のテスト作成も求める。
- 15 後期の授業のまとめと検証テスト
後期の授業のまとめを行います。また、60分程度の検証テストを行います。授業の理解度を調べるためのものです。